

岩手大学平泉文化研究センター国際講演会（令和4年度その1）

# 平泉の仏教を考える

岩手大学平泉文化研究センターでは、国外の研究機関との学術交流を進めております。

今年度は、韓国東国大学校から仏教学の研究者をお招きし、国内の研究動向とともに、平泉の仏教について考えてみたいと思います。

**日時：令和5年2月15日（水）午後2時30分～5時**（午後2時開場）

**会場：岩手大学総合教育研究棟（教育系）E21教室**

**内容：開 会（2時30分）**

話題提供（2時40分～3時20分）

「日本の歴史研究者からみた平泉の仏教（文化）」

誉田慶信氏（平泉文化研究センター客員教授）

講 演（3時20分～4時30分）

「百済・新羅の仏教にみられる水の象徴についての序説」

金天鶴氏（韓国東国大学校教授）

意見交換（4時30分～5時）

参加方法等：当日受付、無料

問合せ：岩手大学平泉文化研究センター（020-8550 盛岡市上田3-18-33）

Fax：019-621-6529

メール：yoshisat@iwate-u.ac.jp



金天鶴 氏（韓国東国大学校教授）

1962年生まれ。

専門は仏教学・思想史。東京大学で博士号（文学）を取得し、姫路独協大学外国語学部韓国語学科准教授、韓国金剛大学校仏教文化研究所長を経て現在に至る。

2019年11月一関市で開催された「平泉と東・北アジアの仏教思想における彼岸と此岸」研究会において、「彼岸と此岸の観点からみた百済・新羅及び高麗時代の仏教」を報告した。



誉田慶信 氏

（岩手大学平泉文化研究センター客員教授。岩手県立大学名誉教授）

1950年生まれ。

専門は日本史。東北大学文学研究科修了（博士（文学））

主要著書

『中世奥羽の民衆と宗教』（吉川弘文館）

『中世奥羽の仏教』（高志書院）

『平泉文化の国際性と地域性』（共著、汲古書院）

